

令和4年度指定管理業務 評価票

1 基本事項

(1)公の施設の名称	糸魚川市健康づくりセンター
(2)施設の設置目的	市民の健康づくりの推進を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供する。
(3)所管部署	健康増進課 健康づくり係
(4)指定管理者	糸魚川健康づくりパートナーズ
(5)指定期間	令和2年4月1日から令和5年3月31日まで(3年間)
(6)主な事業	①施設の管理運営に関する業務 利用申込の受付、利用料金の徴収、スタジオ・フィットネスルーム・プール・入浴施設の管理運営、施設・設備及び備品の維持管理 ②健康づくりの推進及び各種教室運営に関すること 運動教室の企画及び実施、フィットネスルームにおける個別指導及びトレーニング機器等の説明、プールエリアにおける水泳指導、市の健康づくり推進事業との連携、施設外での出張指導 ③その他の業務 職員の雇用・配置及び研修、施設内の目的に適したスペースの利用等

2 管理運営状況

(1)令和4年度管理運営状況(主要な取り組み・成果、地域貢献等の実績)			
・令和4年度”はびねす健診”として6月1日(水)9:00～12:00に健康増進課・糸魚川総合病院と連携して健康診断を実施。健診後は”はびねす”の施設を無料で利用できる特典もあり、健康診断という場で健康づくりをPR・利用促進が図れました。 ・公民館へのお出張指導もコロナ禍ということで場所・回数ともに減少したが、プログラム参加者へ施設PRを図り、かつ”はびねす”へ来館できない方に対しても運動参加機会を提供することができました。 ・10月10日(月)スポーツの日に全施設無料開放。健康増進課と連携し骨密度・筋肉量測定会やスタジオ・プールプログラムを実施しました。(来館者568名) ・9月17日～25日の間、SDGs週間ということでフードドライブを実施。ご利用者から未使用の食材を集め、青海こども食堂へ寄付いたしました。 新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの運営でしたが、総利用者数は目標数値の90,000人に届かなかったものの2021年度の83,275名から5,432名増の88,707名となりました。			
(2)利用状況			
(単位:人)			
	R2年度	R3年度	R4年度
指定管理者名	糸魚川健康づくりパートナーズ	糸魚川健康づくりパートナーズ	糸魚川健康づくりパートナーズ
総利用者数	87,475	83,275	88,707
(フィットネス利用者数)	20,818	18,787	22,400
(スタジオ利用者数)	14,773	15,053	17,186
(プール利用者数)	28,809	27,043	24,867
(3)施設の設置目的達成に関する取り組み			
・コロナ禍ということで、各ゾーンへのアルコール消毒の設置・マスクの無料提供・スタジオ定員の削減・居室換気など、安心して来館・施設利用していただけるように対策を講じました。 ・プールプログラムにおいてもコース型から都度型(※)のプログラムを増設し、参加しやすい環境を整えました。 ・フィットネスでは個別指導を強化し、市民の健康づくりを推進しました。 目標数値(総利用者数:90,000人、収入額:104,358千円)には届かなかったものの利用者数・収入ともに前年を超えることができ、併せて設置目的である『市民の健康づくりの推進を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供する』ことができたものと考えます。 (※)コース型プログラム・・・毎週決まった曜日・時間に約3ヶ月を1クールとして受講するプログラム(受講料は前払い) 都度型プログラム・・・事前申込が不要で開催日当日にすぐ参加できるプログラム(受講料は都度払い)			

(4)収支状況	
---------	--

(単位:千円)

区 分			R2年度		R3年度		R4年度		R5年度(十算)
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
収入	売上高	指定管理料	59,368	59,368	59,368	59,368	59,368	59,368	67,411
		指定管理料(減収補填)	0	2,505	0	0	0	0	0
		利用料金	28,221	22,111	31,146	22,415	31,146	24,466	24,788
		教室受講料	15,600	10,177	12,675	10,189	12,675	12,108	11,542
		その他営業収入	1,169	1,785	1,169	1,579	1,169	2,190	1,628
		小計	104,358	95,946	104,358	93,551	104,358	98,132	105,369
	営業外収益								
		小計							
	※1								
計			104,358	95,946	104,358	93,551	104,358	98,132	105,369

※1 特別利益

支出	売上原価								
		小計							
	販売費一般管理費	人件費	57,226	55,271	57,781	51,603	57,781	54,739	58,651
		消耗品費	9,936	7,545	9,461	7,270	9,260	7,573	7,290
		修繕費	1,895	663	1,895	619	1,323	682	1,100
		電気料	0	0	0	0	0	0	0
		ガス料	0	0	0	0	0	0	0
		水道料	0	0	0	0	0	0	0
		下水道料	0	0	0	0	0	0	0
		通信運搬費	696	694	696	534	696	682	547
		手数料	115	263	115	436	115	295	219
		点検業務委託料	14,343	14,343	14,343	15,018	14,915	15,018	14,860
		清掃業務委託料	8,239	8,238	8,239	8,238	8,239	8,238	8,238
		水質検査委託料	1,727	1,727	1,727	1,727	1,727	1,727	1,727
		減価償却費	61	61	66	66	0	0	0
		借上料	264	230	264	296	264	250	522
		印刷製本費	660	139	580	94	150	87	115
		保険料	548	392	548	365	548	397	420
		事業費・原材料費	1,926	612	1,926	829	2,496	1,417	824
		一般管理費	6,722	5,768	6,717	5,076	6,844	5,088	5,011
		小計	104,358	95,946	104,358	92,171	104,358	96,193	99,524
		営業外費用							
	小計								
※2									
※3									
計		104,358	95,946	104,358	92,171	104,358	96,193	99,524	

※2 特別損失 ※3 法人税等

当期純利益	0	0	0	1,380	0	1,939	5,845
-------	---	---	---	-------	---	-------	-------

「収支状況」における市の状況分析	・新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設の臨時休館や利用制限が無くなり、施設の利用控えも徐々に解消されてきたことから、収支としては2年連続の黒字収支となった。 ・利用料金収入、教室受講料収入ともに前年度実績を上回ったものの、計画額には届かなかった。新型コロナウイルス感染症が若年層にも広がったことで、水泳教室参加者の多くを占める高校生以下の利用者が減少し、プール全体の利用者が減少したことによるものと考えられる。 ・利用料金収入、教室受講料収入の計画未達成分を補うべく、トレーニングウェア・プロテイン等販売会の実施回数を増やしたことで、その他営業収入については、計画額を大幅に上回った。
-------------------------	---

3 適正な管理運営の確保

目標管理	評価指標	利用者の安全確保、適正な施設管理
	目 標	適正な施設の運営・維持管理を行うこと。また苦情や緊急時などに迅速かつ適切に対応すること。
	実 績	事業計画書に基づき適正な管理運営を行い、苦情や緊急時についても迅速に対応した。

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・施設の設置目的を十分に理解し、適正な管理運営をしているか。	設置目的を事務所内に掲示。全従業員が共有して安全快適な施設提供に努めた。
	・誰もが利用できる仕組みを構築し運営しているか。	利用方法・ルールを館内掲示しスタッフが声掛けを行っている。障がい者駐車場、施設利用への案内をエントランス及びホームページに掲示している。ユニバーサルマナー資格を取得し、基本的な向き合い方やお声がけの方法を実践できるよう研修を受けた。外国籍の方へ多言語放送を継続実施している。
	・協定書及び仕様書等に基づいて設備の保守点検や備品の点検を適正に実施しているか。	各種点検結果は毎月提出するとともに、定例会にて報告・協議を行った。
	・協定書、事業計画書等で定めた職員体制がとられているか。	防火管理者を始めとした資格取得や協定書に定められた適切な人員配置を行い、施設の安全と快適な運営に努めた。
	・利用者が安全、安心して利用できるような緊急・救急体制を有しているか。	有事発生時の対応フローを事務所に掲示し、毎月緊急対応シミュレーションを実施した。
	・事故防止や事故発生時の対応について研修等を実施しているか。	スタッフ全員AED&CPR資格を取得した。年2回消防と連携しての自主防災訓練を実施した。毎月、安全ミーティング及び居室別緊急シミュレーション訓練を実施した。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	利用者が増えるにつれ、掛湯をしないで浴槽に入るなど温浴施設の利用マナーについてのお声をいただき、館内掲示や巡回時のお声がけをして対応した。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A +	A +
	評価理由	コロナ感染予防やAED&CPR、熱中症対策アドバイザー資格の取得、毎月の安全ミーティングにおいて、“はびねず”以外での事故事案も情報共有し、安全配慮した運営をしたことでご利用者に安心を提供できた。施設保守点検も適正に行え、営業休止などなく運営できている。ユニバーサルマナー資格で障がい者や高齢者対応方法が実践できるようにした。	各種保守点検や水質検査等も適正に実施されており、点検状況や点検結果、対応内容についても毎月報告がなされるとともに館内にも掲示を行っている。 新型コロナウイルス感染症の予防対策が徹底され、施設内でのクラスター発生を抑え、臨時休館することなく営業できたことは評価できる。
	改善事項	開設から12年が経過したことで設備・備品に経年劣化の傾向がみられるため、予防保全を徹底することで管理コスト削減に努める。	利用者マナーに関する苦情が増えており、利用者に対して引き続きマナーを徹底させるよう努めること。

【評価基準】

ランク	目標達成率(%)	判断基準
AAA	115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA	105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A +	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A -	
B	80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C	80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

4 利用者サービスの向上や利用者数増の取り組み

目標管理	評価指標	利用者人数の増加				
	目 標	総利用者:90,000人、フィットネスルーム:26,000人、スタジオ:10,000人、プール:27,000人				
	実 績	総利用者:88,707人、フィットネスルーム:22,400人、スタジオ:17,186人、プール:24,867人				
資料	(単位:人)					
	項目	①R4 目標数	②R4 実績数	③R3 実績数	達成率 (②/①)	対前年度比 (②/③)
	総利用者数	90,000	88,707	83,275	98.6%	106.5%
	(フィットネスルーム利用者数)	26,000	22,400	18,787	86.2%	119.2%
	(スタジオ利用者数)	10,000	17,186	15,053	171.9%	114.2%
	(プール利用者数)	27,000	24,867	27,043	92.1%	92.0%

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・施設の設置目的を達成するための具体的な取組があったか。	レッスン間の時間を長くとしての換気、マスクの無料提供、ランニングマシンのパーテーション設置など、コロナ禍でも安心して利用できる対策を実施した。
	・利用促進に向けた取組みに努めているか。実現可能な利用促進策を実施しているか。	毎月スタンプラリーや測定会を実施。マンネリ化防止のため、祝日のスタジオは特別プログラムを実施した。
	・教室、イベント、自主事業などの取組み状況	プールにおいてコース型では途中参加ができないため、都度参加型のプログラムを増設し、常時参加ができるクラスを設置。全施設ではスポーツの日には施設無料開放を行った。
	・利用者数増加のためのPR活動は実施しているか。	ホームページの更新頻度UP・インスタグラム・LINEといったSNSの利用や広報いといがわの掲載や出張指導時のパンフレット配布などを行った。
	・利用者アンケート等を活用し利用者の要望や意見を把握しているか。また対応策を講じているか。	全利用者を対象とした利用者アンケートを年1回実施し、また施設内に『お客様BOX』を設置して常時ご利用者からご意見をいただける体制にして即時対応できるようにした。
利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応		マスクの着用が強制ではなく『お願い』レベルであったことでなぜ着用させないのかのお声が複数あったが、個別に返答してご納得を得る。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評価	A+	A-
	評価理由	コロナ感染予防対策を館内掲示やホームページなどで案内することにより、安全のアピールを継続して実施。各居室個別でみると未達成もあるが、フィットネス棟（スタジオ・フィットネス）は合計数値で達成した。これはスタンプラリーの実施で現利用者の利用頻度を増やし、個別の運動指導を強化したことでコロナ禍でも安心してトレーニングできるようになったことが要因と考えられる。一方、お子様の感染が多く、学校・学級閉鎖が相次いだことで水泳教室コース型事業に大きく影響し、プール全体では目標未達。結果施設全体で未達成となりました。	目標は達成できなかったものの、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底したことで、臨時休館せずに営業できた。結果、前年度の利用者数を大幅に上回り、1日当たりの利用者数も10人増加した。コロナが落ち着いたことも一つの要因と考えられるが、予防対策の徹底以外にも利用者数を増やすための各種取組がこのような結果に繋がったものとする。また、利用者アンケートにおいて、大部分の評価項目について、高評価を維持している。
改善事項		利用者数は戻ってきたとはいえ、まだコロナ前までは至っていない。人口減少と高齢化している中で現提供プログラムにこだわらず、新規プログラムを展開しながら新規利用者の確保と現利用者の利用頻度を上げる。	フィットネス棟の利用者数はコロナ禍前に戻りつつある一方で、プール棟において、新型コロナウイルス感染症や少子化の影響により、水泳教室参加者の多くを占める高校生以下の利用者が減少し続けている。今後は、成人利用者も増やすための更なる取組強化が必要と考える。

【評価基準】

ランク		目標達成率(%)	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA		105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+	100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A-	95%以上 100%未満	
B		80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

5 収支や収益の向上に関する取り組み

目標管理

評価指標	収入及び収支の達成状況
目 標	事業計画での目標値を達成すること。
実 績	収入は目標額に達しなかった。

資料

(単位:円)						
項目	①R4 計画額	②R4 実績額	③R3 実績額	達成率 (②/①)	対前年比 (②/③)	前年との差額 (②-③)
利用料収入	31,146,000	24,466,370	22,415,122	78.6%	109.2%	2,051,248
教室受講料収入	12,675,000	12,107,780	10,189,060	95.5%	118.8%	1,918,720
自動販売機収入	830,000	533,069	620,666	64.2%	85.9%	▲ 87,597
商品販売収入	200,000	1,352,583	611,710	676.3%	221.1%	740,873
その他(外部指導料等)	139,000	304,650	346,890	219.2%	87.8%	▲ 42,240
合計	44,990,000	38,764,452	34,183,448	86.2%	113.4%	4,581,004

項目	①R4 計画額	②R4 実績額	③R3 実績額	達成率 (②/①)	対前年比 (②/③)	前年との差額 (②-③)
収入(※指定管理料含む)	104,358,000	98,132,452	93,551,448	94.0%	104.9%	4,581,004
支出	104,358,000	96,195,164	92,168,172	92.2%	104.4%	4,026,992
差引	0	1,937,288	1,383,276	-	140.1%	554,012

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・施設の設置目的に沿った経費の執行ができたか。	協定書に則った人員配置での労務費執行、適切な設備点検・修理及びコロナ対応など安全対策で経費を執行した。
	・利用料収入の目標達成度	新型コロナウイルスによりスタジオの定員を減らすなど利用者減に伴い収入が落ち込み、目標には未達成であった。
	・収入増加のための取組みを実施しているか。	利用料減収分をカバーし、かつ利用者の利便性向上の為、プールの都度プログラムを増設、またフィットネスのプライベートレッスンの強化やプロショップの販売会を増設した。
	・収支決算書は適正に作成されているか。	収支報告書や毎月の事業報告書を適正に作成・報告をして、確認を受けている。
	・経費削減や業務の効率化に取り組んでいるか。	一人でフロントとフィットネスの両セクション対応できるようマルチジョブを推進し労務の効率化を図った。コロナにより常時換気をしている状況であったが、空調設定温度をエコ設定し、経費削減に努めた。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	特になし

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	B	B
	評価理由	コロナ禍において、できる限りの感染予防策を実施して、利用者に安心してご利用していただくよう努めた。また、利用者減少で利用料の減収は避けられない状況下でも、商品売上や有料指導などを強化し利用料に頼らない収入構成にするべく、多角的な収入源を確保した。その結果前年売上を超えることができたが、目標には未達であった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標の収入額に及ばなかったものの、実質収支は2年連続で黒字となり、利用料収入と教室受講料収入ともに前年度を上回ったことは評価できる。新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底したことで、臨時休館せずに営業でき、また、利用料以外の収入源を確保するための各種取組がこのような結果に繋がったものと考える。
	改善事項	プール開設当初と比べ、フィットネスとプールを同日利用している方が少なくなっている。今後は同時利用を促進し客単価の向上を図っていく。	プール棟において、新型コロナウイルス感染症や少子化の影響により、水泳教室参加者の多くを占める高校生以下の利用者が減少し続けている。今後は、成人利用者も増やすための更なる取組強化が必要と考える。

【評価基準】

ランク		目標達成率(%)	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA		105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+	100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A-	95%以上 100%未満	
B		80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

6 公の施設の設置目的と全体評価

検証等

	市の評価		
評 価	設置目的	目標管理（評価指標）の再掲	指標別評価
	市民の健康づくりの推進を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供する。	適正な管理運営の確保	A＋
		利用者サービスの向上	A－
		収支の実績	B
	評価内容		総合評価
	・新型コロナウイルス感染症対策を徹底したことにより、施設内でのクラスター発生を抑え、施設を臨時休館することなく営業が出来た。また利用者数に注目すると、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館があった前年度に比べて増加したことは当然として、1日平均の利用者で比較しても前年度を上回っており、健康づくりに取り組む場や憩いとふれあいの場を市民に提供できたものと評価できる。 ・上記の内容に指標別の評価を含め、全体的に判断し、総合評価を「A」とした。		A
課題検証	新型コロナウイルス感染症が流行した約3年の間に施設の利用を控えたり、利用しなくなった方が一定数存在し、そういった方々が施設に戻って来て、コロナ禍前のように健康づくりに取り組んでいただくことが重要であると考えます。 そのためにも、今まで継続実施してきた「はびねす健診」や「地域への出張指導」は有効な手段であり、今後も継続して実施する必要がある。 特に出張指導等による施設外における取組みは、施設PR・新規利用者の確保にもつながると考えられることから、より積極的な事業展開が必要である。		
改善事項	施設の運動利用によって得られる効果を客観的に判断できるよう、モニターとして協力する施設利用者の体組成データ等を分析し、市と連携しながら数値結果等を広く市民へ周知することでさらなる利用促進を図ること。		

【総合評価】

評価区分	判断基準
AAA	優良である
AA	良好である
A	適正である
B	課題がある
C	改善を要する

公の施設指定管理者選定委員会（評価委員会）の意見書

1 指定管理者名 糸魚川健康づくりパートナーズ

2 対象施設 健康づくりセンターはぴねす

3 評価委員会の意見

項目	意見
対象施設に対するもの	・アンケートの結果では、利用者の評価が下がってきている項目がある。個人の価値観によるところもあるので一概には判断できないが、改善すべきところは改善し、適切に対応すること。 ・人件費や資材価格等が上昇しており、施設の運営経費等の増加は仕方ない部分ではあるが、引き続き最適かつ効率的な運営に努めること。 ・施設利用による健康効果を数値化し、市民の健康にプラスとなる施設であることを分かり易く示すなど、広く情報発信していくこと。 ・アイデアを出し、市民の健康増進につながる新しい取り組みを展開されるよう要望する。
指定管理施設全体に対するもの	・新型コロナウイルスの流行など不測の事態の影響に対する補填については、一律、赤字部分すべてを補填するのではなく、状況に応じた慎重な判断が必要である。